

○基本施策1「空家等の適切な管理の促進」
所有者等による空家等の適切な管理の促進

●空家等所有者への意識啓発

【取組】空き家対策セミナーの開催

令和3年2月21日（日）13：00から北里市民センター講堂において開催予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言の延長に伴い、会場での講演会は中止とし、その代替措置として講師による講演を録画し、市ホームページにて動画を公開しました。なお、個別相談会は申し込まれた4名の方に対して、電話にて実施しました。

講演会「空家で困らないためにやっておくべき5つのポイント」



【講師】

株式会社住宅相談センター 代表取締役 吉田 貴彦 氏

【学歴】

立教大学法学部法学科卒

【職歴等】

証券系不動産会社・大手ハウスメーカーに営業責任者として勤務。

30年以上前からホームインスペクション・ファイナンシャルプランナー

モーゲージブローカーなどアメリカの不動産制度を研究し、3,000軒以上の

住宅を見てきた実績を踏まえたお客様向けの家づくりをアドバイスしています。

●空家等の発生抑制等に向けた支援・取組

【取組1】耐震診断・耐震改修工事実績

事業名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
木造住宅無料耐震診断	35件	62件	42件	71件
木造住宅耐震改修工事	4件	4件	11件	3件

【取組2】被相続人居住用家屋等確認申請書※

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
15件	23件	27件	21件

※「被相続人居住用家屋等確認書」とは「空家の譲渡所得の3,000万円特別控除」を受けるために必要なもの。相続によって生じた空家の売却で、取壊し後の敷地の譲渡など一定の要件を満たす場合は、譲渡所得から3,000万円が控除される。（平成28年度税制改正で創設）

○基本施策1「空家等の適切な管理の促進」
住民等からの空家等に関する相談への対応

●相談窓口の明確化

【取組】市民相談実績

(※住宅無料相談は平成30年度より開始)

相談名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
相続・遺言手続相談	44件	56件	72件	33件
住宅無料相談	-	8件	6件	2件
成年後見・相続遺言等の利用支援と書類作成の相談会	20件	14件	14件	13件
不動産相談	21件	28件	31件	19件
土地建物測量・相続・贈与・登記相談	97件	105件	110件	72件
法律相談	593件	648件	557件	620件

●関係団体・事業者との連携

【取組】空き家総合相談窓口の相談実績

相談件数 14件

相談内容	活用	売却	賃貸	解体	税金・法律関係
件数	2件	2件	4件	4件	2件

(令和2年1月9日愛知県宅地建物取引業協会との協定締結後の累計)

○基本施策2「空家等の利活用促進」
空家等及び除却した家屋等に係る跡地の活用の推進

●空家等の流通・活用促進に向けた情報発信

【取組】小牧市空き家バンクの実績

登録件数 4件（売り物件2件、貸し物件2件）

契約成立件数 2件（用途：貸し住宅1件、貸し店舗1件）

○基本施策3「空家等に対する措置」
特定空家等に対する措置その他の特定家屋等への対処

●老朽化した空家等の除却促進

【取組】空き家等除却工事費補助金（令和2年度より実施）

補助金交付件数 17件

《建物用途》

戸建て住宅	長屋
14件	3件

《空家等の種別※》

老朽空き家	危険空き家
17件	0件

《建築年数》

築30年以上～40年未満	築40年～50年
1件	5件
築50年～60年	築60年以上
8件	3件

《除却後の活用》

戸建て住宅	共同住宅	駐車場	更地のまま
8件	1件	2件	6件

※老朽空き家
築22年以上を経過した空き家

危険空き家
住宅の不良度判定により評点が100以上となる住宅地区改良法第2条第4項に規定する不良住宅の空き家